

## 飲食・物販等の収益施設（公募対象公園施設）整備概要

### 北エリア

業種・業態	： 飲食・サービス業 等
建築面積	： 1,748㎡
延床面積	： 1,996㎡
屋外部分面積	： 864㎡
階数	： 1階建（一部2階建を想定）

### テレビ塔エリア

業種・業態	： 物販・飲食・サービス業 等
建築面積	： 3,652㎡
延床面積	： 5,410㎡
屋外部分面積	： 489㎡
階数	： 2階建（一部1階建を想定）

### 両側町に見立てた新しい街並み

- 施設のテラスや動線を沿道側に設けることで、公園の賑わいと沿道の賑わいを繋いでいきます。



## 管理運営計画

- あらゆる人が安心して憩い、くつろげる安全で快適な空間を目指します。
- 園路・広場等と収益施設を一体的に管理運営することで、賑わいと利便性を実現、防犯・防災機能の向上に寄与します。
- 魅力的な公園イベントや収益施設が演出する様々なアクティビティを通じて多彩な賑わいを創出します。

### 三井不動産株式会社（統括）

#### 公園（園路・広場等） 管理運営

#### 公園スタッフ

- ・植栽管理スタッフ
- ・清掃スタッフ
- ・イベントスタッフ
- ・警備スタッフ 等

連携

#### 収益施設管理運営 収益施設スタッフ



## 事業者

代表構成団体	三井不動産株式会社 （認定計画提出者）
構成団体	大成建設株式会社 株式会社日建設計 岩間造園株式会社

## スケジュール（予定）

2018年3月～	設計、準備作業（樹木環境整備等）
2019年1月頃	工事着手
2020年4月頃	北エリア供用開始
2020年7月頃	テレビ塔エリア供用開始
2038年2月末	事業終了

## 事業スキームの概要

2017年に都市公園法の改正により創設された「Park-PFI制度」と「指定管理者制度」を活用します。

事業内容	実施主体	事業手法		
飲食・物販等の収益施設 （公募対象公園施設）	整備	事業者が公園施設設置許可を受けて整備	事業者	
	管理運営	事業者が公園施設設置許可を受けて管理運営		
園路・広場等の公園施設 （特定公園施設）	整備	事業者が整備したものを市へ譲渡 （整備費の一部は収益還元により事業者負担）	事業者	
	管理運営	事業者が指定管理者の指定を受けて管理運営		
				Park-PFI制度
				指定管理者制度

【問い合わせ先】名古屋市 住宅都市局 都心まちづくり課  
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
電話番号：052-972-2746 FAX：052-972-4171  
電子メール：a2768@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

このリーフレットは市ウェブサイトでご覧いただけます。

栄地区まちづくり

# 久屋大通公園（北エリア・テレビ塔エリア） 整備運営事業計画概要

久屋大通公園のうち、2013年6月に策定した「栄地区グランドビジョン」に基づき、外堀通から桜通までの「北エリア」及び桜通から錦通までの「テレビ塔エリア」について全面的に再生するため、整備運営を行う事業者の公募を2017年10月31日より実施し、2018年2月13日に事業者を選定しました。

2020年の供用開始に向け、計画に基づき事業を進めてまいります。

## コンセプト



ここから、日本の公園の未来を創り、  
世界へ向けて発信いたします。

# NAGOYA INFINITY PARK

日本初の、誰もまだ見たことのない公園を創出し、名古屋の「サステナブルな発展を底支えるインフラ」へと再生させ、日本の公園事業を牽引していく存在としていきます。

### 事業実施方針の基盤

良好なグリーンインフラとして高次元で再生することを、整備運営事業の基盤とします。



方針①

観光ディステーションとしての引力を有し、市民に愛され誇りに思える、世界に冠たるシンボル公園へと進化させます。

方針②

365日いつでも誰にとっても利用効果の高い、常に賑わいを創出する多目的な公園へと進化させます。

方針③

周辺地域への波及効果が高い賑わいのハブとなるべく、地上と地下とが連携運動した3Dパークを実現します。



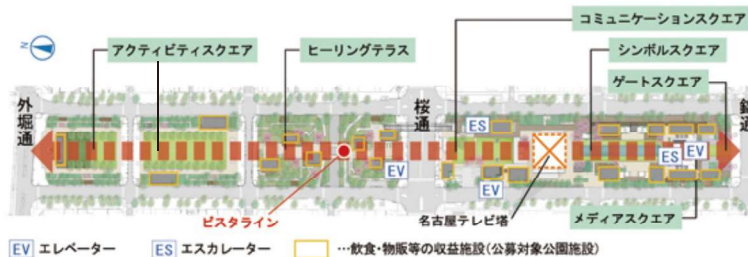
### テレビ塔を中心とした明快なビスタラインを形成

- 南北の軸上には、主要な広場(スクエア)を配し、その機能を促進させる施設群を両脇に配置していきます。
- テレビ塔への見通しを確保するとともに、テレビ塔の景観資源を高める全長100mの水盤をテレビ塔南側に設置し、シンボリックな空間をつくります。
- 広場空間を確保するため、公園内の既存施設の移設・撤去を行います。

### 健全な樹木環境

- 都心に残された貴重な緑を、次の世代に継承するため、樹木の適正な密度管理を行います。
- 南北に連なる樹木は自然樹形の美しさを生かした並木景観とし、久屋大通公園の景観を継承していきます。

公園面積 約 54,500㎡ 長さ約 900m



### 合計約 1 万㎡におよぶ広場の整備

- 広々とした芝生空間や樹木が作り出す緑陰の中で、来園者が思い思いの時間を過ごすことができるよう、ゾーンテーマに基づいて、合計面積約1万㎡にもおよぶ5つのスクエアと1つのテラスの整備を予定しています。
- 広大な広場空間は、災害時には広域避難場所として利用でき、市民の皆様の安全確保に寄与します。

### 誰もが利用しやすいバリアフリー環境

- 各施設までのバリアフリー動線を確保し、どなたでもスムーズに施設へアクセスできるように整備します。
- 各施設では、視聴覚障がい者等への誘導や案内を積極的に行います。

### 北エリア [都会の安らぎ空間]

### テレビ塔エリア [観光・交流空間]



#### 学びの森ゾーン

#### アーバンリゾートの森ゾーン

#### コミュニケーションゾーン

#### シンボルゾーン



多世代が学びや刺激を得られ「ものづくり名古屋」を支える、大人と子どもたちが育む空間へ



美しい森の中の木陰にあるデッキ沿いに、地元密着型のショップや飲食店が広がる都市型リゾート空間へ



青空の下、語らいのひと時やランニングを介したコミュニケーションなど、交流・親交を誘発する空間へ



国内外からの来訪者を惹きつける「ものづくり名古屋」、「日本の価値」をプレゼンテーションする空間へ

南北軸を中心に、東西のつながり、上下のつながりに配慮した立体的な動線計画

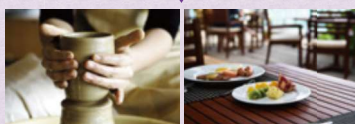
#### 往来を促進する上下軸の創出



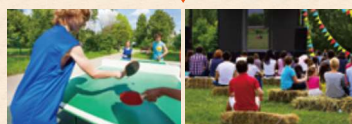
- エレベーター・エスカレーターの設置、階段の改修を実施することで上下の連動を高めます。
- 地下街から上がったところに収益施設やテラスを設けることで賑わいの顔を作ります。



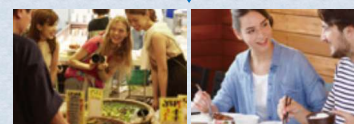
遊びや英語、スポーツなどをテーマに、子供たちに学びを提供する教室や大人たちが体・頭を動かしながら自己啓発に取り組める教室等の展開を想定



地元密着型の個性のおしゃれな雑貨店や地元食材を使った料理を提供するレストラン、カフェ、名古屋の伝統工芸・地域文化に触れ合い、体験できる施設等の展開を想定



スポーツの魅力を発信する物販店等、飲食店、国内外からの来訪者へ観光スポットを紹介する名古屋観光発信拠点となる施設の展開を想定



水盤に映るテレビ塔を眺めながら、料理を楽しめる高感度かつおしゃれな飲食店や世界的にも注目度の高い物販店等の展開を想定